

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係機関や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
- 自主防災組織の支援
- 報道機関等への情報提供及び連携強化
- 地域の防災リーダー育成推進
- 市町村等の取組を支援する専門家の派遣を支援
- 関係機関(高専等)との包括連携協定に基づく防災強化
- Lアラートによる報道機関等への情報提供

教育活動

- マイ・防災マップづくりの支援
- マイ・タイムラインづくりの支援
- 出前講座による防災教育の実施
- 地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組推進
- 専門家による防災講座実施
- ダムや堤防等の施設についての啓発活動
- 小学生等を対象とした河川環境の学習会等を実施
- 地区防災マップやささえあい防災マップ作成支援・検討
- 福祉関係者向けの研修会の開催や情報共有・意見交換の実施

訓練活動

- 避難訓練の実施支援
- 避難訓練への地域住民の参加促進
- 学校における訓練促進
- 関係機関が連携した水防突動訓練等を実施

水防活動の支援

- CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置
- 水防団等への連絡体制の確認・実践的な情報伝達訓練の実施
- 水防協力団体等の募集・指定を促進(広報誌やイベント等)
- 新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
- 防災拠点となる施設・資機材等の強化
- 水防技術講習会を実施
- 大規模災害時の災害対応拠点等配置計画の検討を実施

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域図作成・公表
- 水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進
- ハザードマップ(多言語版等)作成・配布
- 住民の避難行動を促す情報伝達手段の強化
- 防災訓練や防災学習、コミュニティタイムラインに
- 防災施設の洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供の実施
- 水害ハザードマップを活用
- 長野県防災情報システム等を活用した公共交通機関との洪水情報の共有
- 氾濫シミュレーション結果や地形情報等の提供
- ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実
- 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動
- 支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、
- リスク情報を周知
- まるごとまちごとハザードマップの推進
- SNSやメール等を活用したリアルタイムの情報提供
- 浸水被害軽減地区の指定
- 不動態関係者への水害リスク情報の提供
- 供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
- 独自防災ポータルサイトの運用
- 広域避難計画に関する近隣市町村との検討

流域治水の広報

- パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信
- ホームページ・広報誌等による水防災意識社会再構築の啓発
- 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット等を設置
- 令和元年東日本台風記録誌やデジタルアーカイブ等を活用した広報
- 千曲川の歴史パネル展示
- 自主防災組織へ「自主防災活動の手引き」を配布

水災害対策の支援

- 立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援
- 民間施設等を活用した緊急的な避難先の確保推進
- 避難誘導マニュアル作成指針を活用した地域版避難誘導マニュアルの作成支援
- 避難時の声かけや避難誘導方法等についての充実
- 要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援
- ダム放流情報を活用した避難体系の確立
- 民間企業や各下水道管理者のBCP策定支援
- 浸水リスクのある防災拠点や災害拠点病院等の施設等の浸水被害の防止軽減策の支援
- 防災活動拠点施設管理者との被害報告に関する連絡体制の構築
- 関係者が一体となったタイムラインの作成・検討・見直しの実施

計画策定

- 都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導
- 水害リスク情報を元に土地利用に関わる計画の見直し
- 災害危険区域の適正な指定を促進
- 地区防災計画・避難確保計画(要配慮者施設等)の作成・見直しを支援
- 大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画の検討を実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
① 知る機会を増やす	● ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	● 広報誌やイベント等で流域治水や水害について広報	●	●				
	● ◎連携活動 地域 個人 企業・団体	● 関係機関や地域住民との共同点検の実施	●	●				
② 自分事と捉えることを促す	◎ リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップの作成、公表 住民の避難行動を促す情報伝達手段の強化 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップの作成、公表 住民の避難行動を促す情報伝達手段の強化 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップの作成、公表 住民の避難行動を促す情報伝達手段の強化 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実				
					◎ 教育活動 地域 個人	● マイ・タイムライン講習会の実施 ● 小中学校における防災教育、出前授業	●	●
					◎ 訓練活動 地域 個人	● ●	● ●	● ●
	③ 行動を誘発する	◎ 計画策定 地域 個人 企業・団体	避難確保計画の作成促進 都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導	避難確保計画の作成促進 都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導				
◎ 水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体					要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援 避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成支援	要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援 避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成支援	要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援 避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成支援	
◎ 水防活動の支援 地域 個人 企業・団体								● CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置 ● 水防団等への連絡体制の確認と実践的な情報伝達訓練の実施

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

ながの治水対策研究会

○民学官の参画の研究会を開催し、身近な治水対策について調査・研究するもの (R4 1回 60人、R5 1回 70人)

ながの治水対策研究会

長野市ホームページから

開催日: 2024年1月30日(火) 午後2時～午後4時

開催場所: TOKYO WEST 4階 長野市生涯学習センター 大卒学室

定員: 20名(先着順となります)

第1回(4年度)ながの治水対策研究会

プログラム

開会あいさつ
長野市長 萩原健司

基調講演
「官・学・民による地域の防災・防災に献ずる協働体制について」
—「市防府におけるケーススタディ」
長野工業高等専門学校 工学部 教授 酒井 美月 氏

話題提供

- 千曲川(河川)事務所
- 長野県建設部河川課
- 新町水防対策会
- 調査・研究テーマ発表
- 信大工学部の発表
- 長野高専の発表

流域治水の広報

○地域・企業等へ市内の河川施設や 雨水貯留浸透施設助成制度のPRなど
○出前講座:長野市の浸水対策 (R3実績 1回 30人)



OR4情報番組で紹介2回
北八幡雨水調整池(地下式)

教育活動

○出前講座:防災対策
・マイ・タイムラインの作成
・長野市防災ナビの使い方
・避難所運営ゲーム
・防災備蓄倉庫
※R4実績 50回、参加者2,104人
R5(12月末まで)64回、参加者4,004人

訓練活動

○地域力向上支援金事業
災害時のドローンによる状況把握
(長沼地区自主防災会連絡協議会で準備中)



水防活動の支援

○水防活動拠点整備
(長沼河川防災ステーション整備)



計画策定

○地区タイムラインの作成・周知
長沼地区コミュニティタイムライン
(防災訓練 1回/年実施)

リスク情報等の提供

○総合的な防災マップ
洪水・土砂災害ハザードマップ
作成・更新・配布
HPで解説動画配信



○浸水(内水)想定区を公表
(北八幡排水区)



○危機管理型水位計の設置
(北八幡川、1箇所設置)



～長沼地区コミュニティタイムライン～(本表版) (制作:2024年1月)

項目	内容	備考
1 浸水(内水)想定区	<p>●浸水想定区</p> <p>●浸水想定区(内水)</p> <p>●浸水想定区(外水)</p>	<p>●浸水想定区(内水)は、大雨時の想定水位に基づき、浸水想定区(内水)として公表している。</p> <p>●浸水想定区(外水)は、大雨時の想定水位に基づき、浸水想定区(外水)として公表している。</p>
2 浸水(内水)想定区	<p>●浸水想定区(内水)</p> <p>●浸水想定区(外水)</p>	<p>●浸水想定区(内水)は、大雨時の想定水位に基づき、浸水想定区(内水)として公表している。</p> <p>●浸水想定区(外水)は、大雨時の想定水位に基づき、浸水想定区(外水)として公表している。</p>
3 浸水(内水)想定区	<p>●浸水想定区(内水)</p> <p>●浸水想定区(外水)</p>	<p>●浸水想定区(内水)は、大雨時の想定水位に基づき、浸水想定区(内水)として公表している。</p> <p>●浸水想定区(外水)は、大雨時の想定水位に基づき、浸水想定区(外水)として公表している。</p>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松本市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 河川管理者、市、広域消防局、消防団及び町会関係者で合同巡視を実施(5、6月)
- 自主防災組織の防災活動を支援するため補助金を支出(90件)



▲ 合同巡視の様子

流域治水の広報

- 地域づくりセンターにハザードマップの配布を依頼(市内35箇所)



▲ 市公式LINE 防災メニュー

教育活動

- マイタイムラインの作成支援及び水害等に関する出前講座を実施(1町会)
- 「防災都市づくり計画」に関する出前講座を実施(高校生33人)
- 小中学校を対象に防災学習を実施(7件、1,589人)
- グリーンインフラアクションプランに基づき、地元住民と高校生の協働により、女鳥羽川の草刈り・清掃活動を実施



▲ 地元住民と高校生による草刈り・清掃活動

訓練活動

- 小中学校において避難確保計画に基づく避難訓練を実施(年1回)
- 水防団(消防団)での水防訓練を実施(8月)



▲ 水防訓練の様子

水防活動の支援

- 水防団員(消防団員)の募集強化のため広報活動を実施
 - ・YouTubeにてPR動画を公開
 - ・松本山雅ホームゲームでのCM放映
 - ・市内路線バスでのアナウンス放送



▲ 団員募集PR動画

水災害対策の支援

- Web会議やEMIS(広域災害救急医療情報システム)により、災害拠点病院等と情報を共有

計画策定

- 避難確保計画未策定の要配慮者利用施設に対して策定を促進(40施設)
- 排水ポンプの出動要請の連絡体制を整備(6~10月)

リスク情報等の提供

- 新たに公表された中小河川の洪水浸水想定区域を反映したハザードマップを作成(R5年度末完成予定)
- 出前講座(1町会)や市HP、市広報紙、FMまつもと等でハザードマップについて周知
- 松本安心ネット、防災無線、SNS、災害電話サービス等を活用し、災害情報等を発信

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(上田市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 河川管理者、河川沿川地区等と共同で点検を実施(年1回)
- 自主防災組織リーダー研修会の実施(令和5年度:2回)



千曲川合同巡視



自主防災リーダー研修会

流域治水の広報

- パネル展、防災教育、HP等での周知(令和5年度:1回)



教育活動

- 出前講座等による防災教育の実施(48回)
- 川遊びの面白さと怖さを学ぶ「令和5年度 鹿教湯内村川川遊び」実施(小学生19人)



外国籍市民のための防災基礎講座



リポートレッキング

リスク情報等の提供

- ハザードマップの作成・配付(令和5年3月更新)
- 独自ポータルサイトの運用



訓練活動

- 上田市防災訓練
地域住民参加型の避難訓練を実施



水防活動の支援

- 水防訓練の実施(8回 413人)



- 河川監視カメラ設置(1台、令和6年3月予定)

計画策定

- 立地適正化計画の見直し(防災指針の追加)(令和6年3月予定)



上田市立地適正化計画

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(須坂市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 水防活動に関わる関係者との共同点検実施

流域治水の広報

- 市報による広報(地域を水害から守る)

教育活動

- ダムや堤防等の施設についての啓発活動(小学校2校 社会科見学、ダムまつり共催)
- 小学校での災害時被災体験の講話受講(小学校1校)
- 専門家による防災講座受講(区長会 1回)



訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(1回、350人)



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(市内全域)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(市内全域)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(気象・防災情報の提供を12地区等で実施)

計画策定

- 地下空間・地区タイムラインの作成・周知(1地区、5回開催)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小諸市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実、支援

リスク情報等の提供

- 洪水の浸水想定範囲、ハザードマップのホームページへの掲載、市民への周知
- LINE等による防災情報の充実



教育活動

- 出前講座による防災教育の実施マイ・タイムラインづくりの支援 (2回、26人)
- 小学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座(1回、47人)
- 自然環境学習のイベント(1回)



訓練活動

○住民参加型の防災訓練を実施 (1回)



水防活動の支援

- 北佐久消防協会 水防訓練 (1回)
- 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、量水標の設置 (2拠点)



計画策定

○立地適正化計画による防災計画の見直し開始

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(中野市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの推進
- 河川管理者や河川沿川地区等と共同で重要水防箇所等の合同巡視を実施



流域治水の広報

- 広報誌で上今井遊水地整備の事業概要及び工事の手順等を掲載し、流域治水に対する認知を促した



教育活動

- 分かりやすい教材等を用いた防災教育(2回、48人)
- 防災出前講座及びマイ・タイムラインの普及啓発(4回、105人)



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表
- 防災マップ(ハザードマップ)の更新・配布
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(気象・防災情報を中野市すぐメールにて、登録者を対象に送信)

訓練活動

- 水防体制の強化を図る共同訓練を実施(上今井地区、夜間瀬川堤防、各1回)



水防活動の支援

- 市内樋門・樋管・排水設備の点検及び修繕



水災害対策の支援

- 災害用備品の配布(ヘルメット、ヘッドライト、ラジオライト、乾電池(11地区、20セット))



計画策定

- 地域防災計画・避難確保計画の作成促進
- 中野市総合浸水対策計画の推進

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(大町市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 自主防災組織主体の防災訓練・防災研修に対する講師派遣等の支援(11件)
- 自主防災組織に対する防災資機材整備の補助(26件)
- 防災士資格の取得補助(4件)



流域治水の広報

- 「みんなで防災を考えよう」土砂災害などからの備えや避難時の心構え等について広報誌へ掲載



教育活動

- 国土交通省大町ダム管理所等と共催する「高瀬渓谷フェスティバル」への協力(ダム見学・流域治水・土砂災害等に関連する体験学習など)

訓練活動

- 消防団(水防団)による水防訓練(土のう作成及び配置訓練)(1回、150人)
- 関係機関及び住民参加型の総合防災訓練(約500人参加)



リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップ内での浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の情報を更新・市HPにて配信(令和5年4月1日現在更新)
- 避難場所等に関する情報を市HP等にて公表(令和5年4月1日現在更新)

計画策定

- 都市計画マスタープランの改定(立地適正化計画の防災指針を反映)(令和6年3月公表予定)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(飯山市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係区による関連する現場見学会の開催。現在行われているプロジェクト事業への理解と共有。(一団体:20名参加)



教育活動

○マイ・タイムラインの活用推奨 市HPへの掲載と全戸配布

- 北信5市町によるかわまちづくり事業の推進
魅力ある水辺空間、賑わい創出(市内7小学校参加)
- 千曲川水環境保全協議会による環境学習の実施
(3小学校参加)



洪水時は流しま宣言の推進

- 市民・事業者と協働した流域治水の取組推奨
増水時の排水量削減を依頼する取組み(R5.7~)

訓練活動

- 水防訓練の実施
避難所開設・増水想定訓練
毎年5月下旬開催
(関係者300名参加)



流域治水事業等の広報

- 市広報紙による特集記事の掲載。
身近な事業の進捗と計画(2回/年)



リスク情報等の提供

- 指定避難所、洪水ハザードマップの全戸配布
- 県管理区間の河川監視カメラの設置
市民への閲覧(7箇所)
- 洪水情報の配信
緊急速報メールとして立ヶ花水位観測所における情報を有事の時に市民へ発信



- 排水ポンプ車運転訓練
関係する区民と行政の協働による訓練 毎年6月上旬開催
(地元住民関係者20名参加)

計画策定

- 飯山市まちづくり基本計画(立地適正化計画)による防災指針の整理と推奨(R3.3~)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(塩尻市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(全地区)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(令和5年度作成、6年度配布予定)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(気象・防災情報の提供を全地区等で実施)
- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(HP・SNS)



- 危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設(現在までに、奈良井川、小曾部川、田川 計6箇所設置)



教育活動

- 分かりやすい教材等を用いた防災教育(23回、700人)
- 防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座(5回)



訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(総合防災訓練、1回、200人)
- 水防実働訓練を実施(隔年開催)



水防活動の支援

- 水防活動拠点整備(排水ポンプの購入)
- 水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集を促進



計画策定

- 地区防災マップの作成・周知(1地区)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(佐久市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 区・消防団と、地域の洪水による災害リスクの高い箇所の現場確認・共有(さくの絆作戦)
- 千曲川河川事務所が実施する千曲川流域タイムラインへの参加

教育活動

- マイタイムラインの作成方法と用紙の全戸配布
- 出前講座によるマイタイムライン等の地域防災に関する知識の普及啓発(39回、1,795人 R5年度実績)
- 地域防災力向上のため基礎知識を踏まえたDVDを作成・貸出
- 防災リーダーとしての地域の防災士育成支援
- 令和元年東日本台風等の被災箇所を記載した地域防災マップの作成
- 地域包括支援センター等と防災に関する勉強会を実施(3回)

リスク情報等の提供

- 「防災指針」を立地適正化計画へ追記し公表
- 市内一級河川の洪水ハザードマップの作成→該当地区へ配布および市HPへ掲載
- 洪水ハザードマップ住民説明会の実施、説明動画の公開(R4年度)
- 佐久市防災マップの作成・配布
- 移住者・転入者へ防災マップを用いて災害リスクの説明
- 地域防災計画の公表
- メール配信システムによる情報伝達
- 雨量計の設置(24箇所設置 ※国・県設置10か所、市独自設置14か所)
- 災害時に市HPにて災害情報を提供する「情報公開システム」の運用開始

訓練活動

- 関係団体と台風災害を想定し、初動体制を確認する、総合防災訓練の実施
- 住民参加型の避難所開設・運営訓練
- 佐久建設事務所指導による水防訓練を実施(佐久市消防団)



総合防災訓練 対策本部の様子

補助制度

- 自主防災組織に対し、資機材整備の補助金
- 地域の防災リーダーとなる防災士資格の取得費用の補助(自主防災組織)
- 防災士資格の取得補助

民間企業等との連携

- 燃料や機械等の各種業界団体等との災害時応援協定の締結(24社)
- 有事の際に資機材等を提供いただける建設業者等に「消防団協力事業所」制度の実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(千曲市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 重要水防箇所を水防団と合同巡視



教育活動

- 河川の生き物探しなど、千曲川の学習活動を実施
(1回、親子20組、51人)
- 市内小中学校にて、防災クイズや避難所設営体験を交えた、防災教育を実施
(2回、合計約120人)



訓練活動

- 住民参加型の総合防災訓練を実施
(上山田地区、1回、388人参加)



水防活動の支援

- 水害リスクの高い場所に排水ポンプを設置
(8箇所)



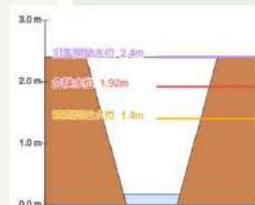
流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害について啓発
- 広報誌で信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗を発信



リスク情報等の提供

- 市管理の排水機場や農業用水路にカメラ・水位計を設置し、ホームページでリアルタイムな河川情報を発信(17箇所)



水災害対策の支援

- 企業の自衛水防の取り組み「自作で備えておきたい水害に備えるための土のう作り」を支援
(砂・袋の提供、1回、21社)



計画策定

- 地区防災計画の作成支援出前講座開催
(2地区、4回)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(東御市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 河川愛護(清掃)活動39団体実施
- 河川管理者と河川モニターの連携
- 市と河川モニターによるパトロール

教育活動

- 防災出前講座実施(田中地区)
- 小中学校への防災教育・出前講座(柵津小、東部中)
- 市職員を対象に土砂災害講座を実施(県の赤牛先生)

事前準備等の発信

- 台風接近前のため池低水位管理について発信

リスク情報等の提供

- 避難所・土砂災害ハザードマップをR3に更新(R4. 6に各戸及び市内企業等へ配布)
- ため池ハザードマップをR3に作成(全146池内、防災重点農業用ため池49池) 関係区へ配布済(R5に11池追加 R6. 6配布予定)
- 避難場所や避難経路等に関する地区防災マップ作製支援(R5島川原区が作成し、整備済は5区)
- 市HPへ、国県のポータルサイトを貼付け情報提供

訓練活動

- 金原ダム緊急放流伝達訓練
- 非常時職員参集・情報伝達訓練(9月)
- 市内小中学校の避難訓練 年1回(土砂災・浸水想定に含まれる5校)

水防活動の支援

- 活動拠点整備の検討

水災害対策の支援

- 越流箇所への土嚢配布

被害軽減対策

- 災害拠点の機能確保(庁舎・病院に自家発電設置済)

計画策定

- 業務継続計画(BCP)の継続した取組
- 庁内災害タイムライン策定済、実行
- 下水道BCP計画策定済、実行
- 下水道施設耐水化計画策定済
- 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援
- 都市マスタープラン見直し、立地適正化計画による被害軽減のための誘導計画を検討(R6~7)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(安曇野市)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施



流域治水の広報

- 広報紙、ホームページによる周知
- 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や防災関連のパフレット等の設置



教育活動

- 出前講座による防災教育の実施

訓練活動

- 水防実働訓練等の実施
- 排水実働訓練の実施

リスク情報等の提供

- 浸水リスク情報の周知
- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など
防災情報の充実
- ハザードマップ更新・配布



水防活動の支援

- 排水ポンプ車購入(令和5年6月)



水災害対策の支援

- 土砂災害における警戒避難体制を強化し、住民の避難に資するため、土砂災害に関する行動計画作成の取り組みを支援するとともに、防災訓練を実施



計画策定

- 避難確保計画の作成と訓練の推進
- 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小海町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- ダム、砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わる勉強会の開催
(長野県・小海町)

流域治水の広報

- 千曲川流域での治水活動について周知する。随時。
- 町で実施可能な施策の広報



教育活動

- 土砂災害・水害に関する防災教育、災害ボランティア研修会(マイタイムラインを活用)
- 小中学校への防災教育出前講座(各1回、30人)



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(全地区)
- 町内全域防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布
- 避難場所や経路等に関する情報を周知
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置2か所

防災訓練

- 住民参加型の避難訓練を実施(年1回、400人)



水防活動の支援

- 5地域の消防団の連携・訓練
- 情報伝達体制の強化



水災害対策の支援

- 情報共有の方法
- マイタイムラインの普及
- 避難所の案内
- 雨水貯留の有効性を周知

計画策定

- 自主避難計画の策定
- 町内33地区中23地区が策定済



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(佐久穂町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- ダム見学会やダムを活用したイベントの開催
(ダム活用イベント: 佐久穂町、1回、2日間、62名)



教育活動

- ダムや堤防等の施設について、整備の段階や完成後も定期的にその効果や機能等について住民に周知を実施

リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布(佐久穂町全域)
- 洪水時や土砂災害時に利用可能な指定緊急避難場所に関する情報を掲載



訓練活動

- 住民参加型の総合防災訓練の実施(佐久穂町、1回、2,936人)
- 水防団等への連絡体制の確認と職員も参加した実践的な情報伝達訓練の実施



水防活動の支援

- 出水期前の土のう事前作成



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(川上村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 地域住民を対象とした出前講座 (1回、70人)
- 小学校において、洪水・土砂災害を想定した避難訓練を実施 (村内2校 参加児童200名)



訓練活動

水防活動の支援

- 消防団等への連絡体制強化と災害対策本部を主体とした情報伝達訓練

水災害対策の支援

- 取水期前の土のう事前作成

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(南牧村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(村内全戸配布)
- 令和5年度事業にて危機管理型水位計を設置中
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを令和5年3月に更新・村内全戸へ配布済
- 河川監視カメラを設置済(6河川、6箇所)
- 避難場所に関する情報を周知

水防活動の支援

- 水防活動(土のう製作等)

計画策定

- 地区タイムラインの作成を検討中

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(南相木村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒・特別警戒区域(土石流)を公表(全地区)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(防災マップ)
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設(南相木川、3箇所設置)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施
- 役場職員の炊き出し訓練を実施



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(北相木村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(軽井沢町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 自主防災組織の活性化支援に伴うリーダー育成

教育活動

- マイ・タイムラインの普及啓発

広報かるいざわ2021年9月号より



防災ハンドブックより



リスク情報等の提供

- 土砂災害防災マップ・浅間山火山防災マップを公表(町内全域)
- 浸水想定区域マップ作成中

水災害対策の支援

- 町職員による各区被害報告責任者の配置に伴う連絡体制の構築

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

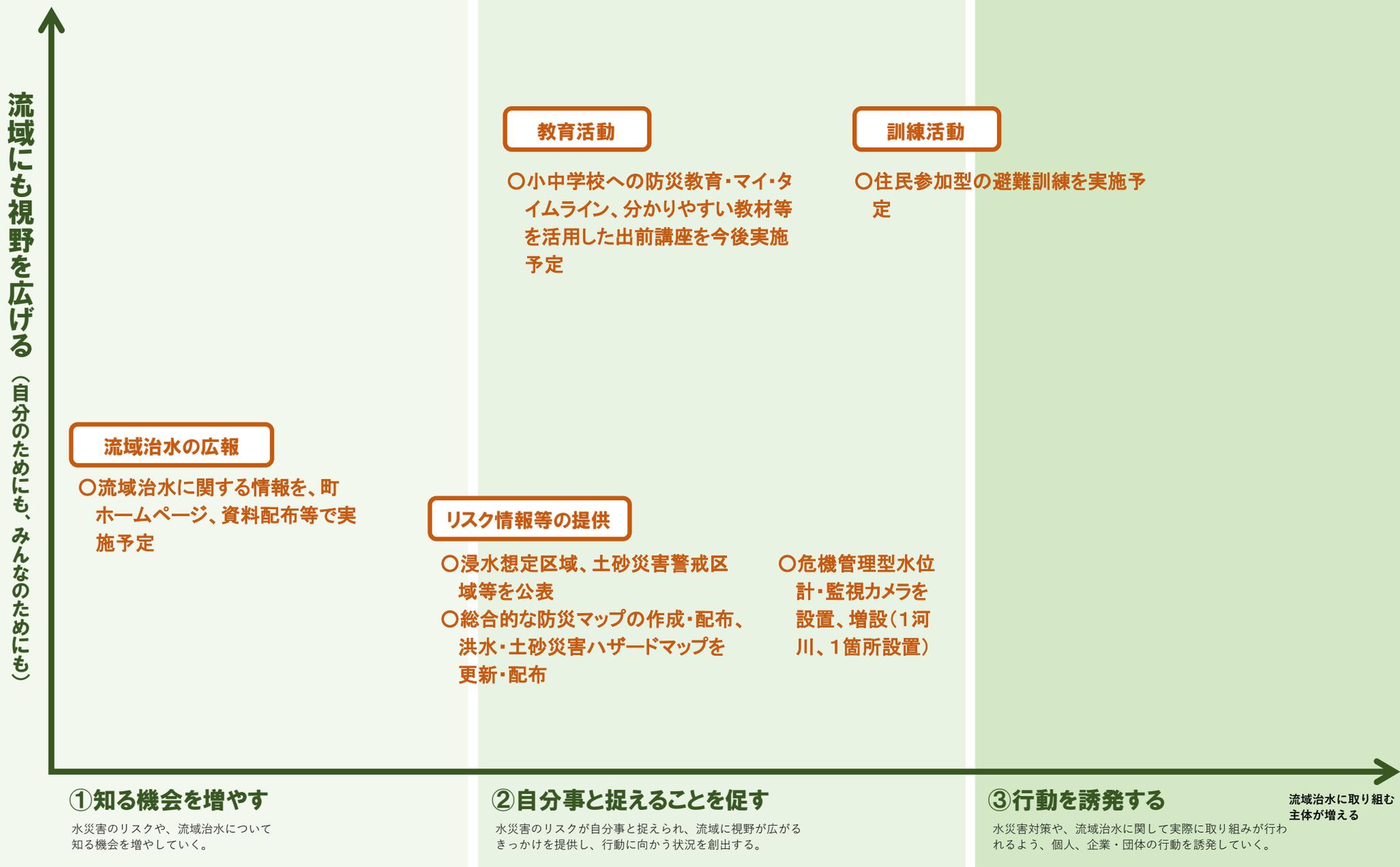
③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(御代田町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(立科町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 地区防災訓練にあわせて水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(町内各区、1,103人)



教育活動

- 自主防災組織等からの依頼により防災講話や、県との連携による研修会等(1回、68人)
- 小中学校の避難訓練実施(全校)



訓練活動

- 住民参加型の防災訓練を実施(町内各区、1,013人)
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組



水防活動の支援

- 災害時の応援協定と水防団(消防団)の情報伝達体制の強化

水災害対策の支援

- 出水期前に希望する消防団へ土のうの事前配布

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(全地区)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新(R4)・配布(R5)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(気象・防災情報の提供)

- 危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設(3河川、3箇所設置)



計画策定

- 立科町地域防災計画の更新

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長和町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 地元中学生の職場体験の一環として砂防堰堤建設箇所を視察研修を実施

訓練活動

- 自主防災組織による、消防団・警察署・消防署と連携した避難訓練を実施。200人程度参加。
- 自主防災組織による、情報伝達訓練を実施。40人程度参加。

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布
- 避難場所や経路等に関する情報を周知
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(青木村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 長野市長沼地区との共同植樹会
(1回 約70名)



教育活動

- 中学校への防災講座を実施
(1回 約30名)



訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施
災害対策本部(役場)からメール配信・IP端末による告知等)



信州大学とのリスキングプログラム

- 信州大学講師から役場職員向け研修実施
「知って、学んで、動かそう 防災・減災：フェイスフリーの視点から考える、これからの青木村の取り組み」

リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布
- 緊急防災メールによる、リスク情報等の提供。

計画策定

- 地区防災マップの策定(R4中村地区、2回開催)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(麻績村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 村内全地区における自主防災組織の充実(23地区)
- 河川愛護団体等の環境整備に併せた高リスク箇所の共同点検の実施(4団体)



流域治水の広報

- 村広報誌に水防(防災)情報を継続コラムとして掲載



教育活動

- ダムや堰堤等の施設についての啓発活動



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域を公表(全地区)
- 総合的な防災マップを作成・配布し、避難場所や各種警戒情報の取得先一覧等を周知

命をつなぐ行動(訓練、備蓄品等の確認)

- 学校や地域住民参加型の避難訓練の実施支援



水防活動の支援

- 危機管理型水位計・監視カメラを設置(麻績川)

水災害対策の支援

- 避難時の声かけや避難誘導方法等についての充実

計画策定

- 地域防災計画の修正
- 要配慮者利用施設による避難確保計画の作成支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(生坂村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 国、村、消防署、消防団、地元住民による重要水防箇所合同巡視の実施
- 防災士の育成支援(14名(5年度:1名))



教育活動

- 教育委員会主催によるつながりの場づくり事業で防災講習会を開催(1回、14人)



訓練活動

- 村民民参加型の避難訓練(1回、220人)
- 区防災訓練(6区、119人)

水防活動の支援

- 消防団による豪雨により発生した堤防内水への対応、樋門操作作業支援



流域治水の広報

- 流域治水に向けた雨水貯留タンク設置補助事業の周知及び推進(3件)



リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップのHP掲示(L1・L2)
- 警戒レベルを加えた発表文として運用(村避難訓練)
- 避難場所や経路等に関する情報を周知(避難訓練10区で確認)
- スマートフォン等WEBからの情報取得方法の周知



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(山形村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(山形村)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(山形村、不動産関係者等)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(朝日村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施
 - ・総合的な訓練
(全村、1回、人数約800人)
 - ・土砂災害訓練
(対象地区、1回、人数約70人)



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(朝日村)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(朝日村、不動産関係者等)
- 土砂災害警戒区域を有する地域を対象に防災マップを作製・配布

- 危機管理型水位計・監視カメラの設置を検討中

水災害対策の支援

- 水害対策として排水ポンプの整備を検討中



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(筑北村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 流域治水のPR動画の放送
長野県作成のPR動画を本庁舎ロビーにて放送(8/16~9/2)



連携活動

- 「森と湖に親しむ旬間」にあわせた小仁熊ダム見学会の開催(4/22~4/23)



教育・啓発活動

- 雨水貯留タンクを小学校、中学校、役場へ設置



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(全地区)
- 村内10か所に雨量計POTEKA設置
- 洪水・土砂災害・ため池ハザードマップを更新中(R6.4月配布予定)
- 防災出前講座を随時開催
ハザードマップ解説、防災マメ知識等
- 防災アプリ(信州防災アプリ、ヤフー他)を広報誌や防災訓練で紹介

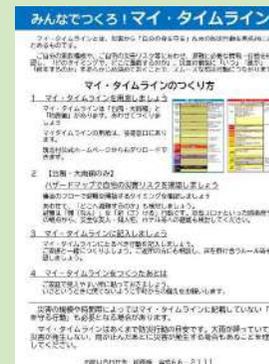
訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(9/3 1,415人)
- 消防団 水防訓練(9/3 84人)
- 要配慮者利用施設避難確保計画作成、避難訓練(全10施設で作成済み、訓練実施済み)
- 自主防災組織リーダー等を対象とした避難所HUG(風水害版)を実施(30名)



計画策定

- マイタイムライン、自主防災組織版タイムラインの作成を普及・出前講座を実施



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(池田町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

防災教育や防災知識の普及に関する取組み

- 小学生に対する防災教室の実施(会染小学校4年生39名)
- 自主防災会長会議における防災知識の普及(年2回各32名参加)
- 土砂災害自主避難訓練に併せて砂防ボランティアによる赤牛先生講座(1回、50人)



教育活動

- 小学生に対する防災教室の実施
- 町のホームページからハザードマップを見て、自宅の災害リスクを確認する
- 気象情報の取得方法を学習する(危機管理型水位計・監視カメラの見方など)
- (1回、39人)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等ハザードマップをホームページで随時公開



- 土砂災害自主避難計画の作成(防災マップの作成・配布(R5は池田町相道寺地区))

訓練活動

- 住民参加型の土砂災害自主避難訓練避難訓練を実施(池田町相道寺地区、1回、50人)



計画策定

- 地区役員による防災マップ作成作業の実施(相道寺地区)
- 地区防災計画の作成(R5半在家地区、二丁目地区)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松川村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座(1回、約230人)



リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(令和4年度更新)
- 気象観測システムの導入(令和5年度)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(坂城町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 小学校での出前講座による防災教育を実施 (1回、50人)



訓練活動

- 住民参加型の防災訓練を実施 (1回、227人)



- 消防団による水防訓練を実施 (1回、65人)



リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップの配布
- 区長へ防災に関する情報を周知 (1回)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

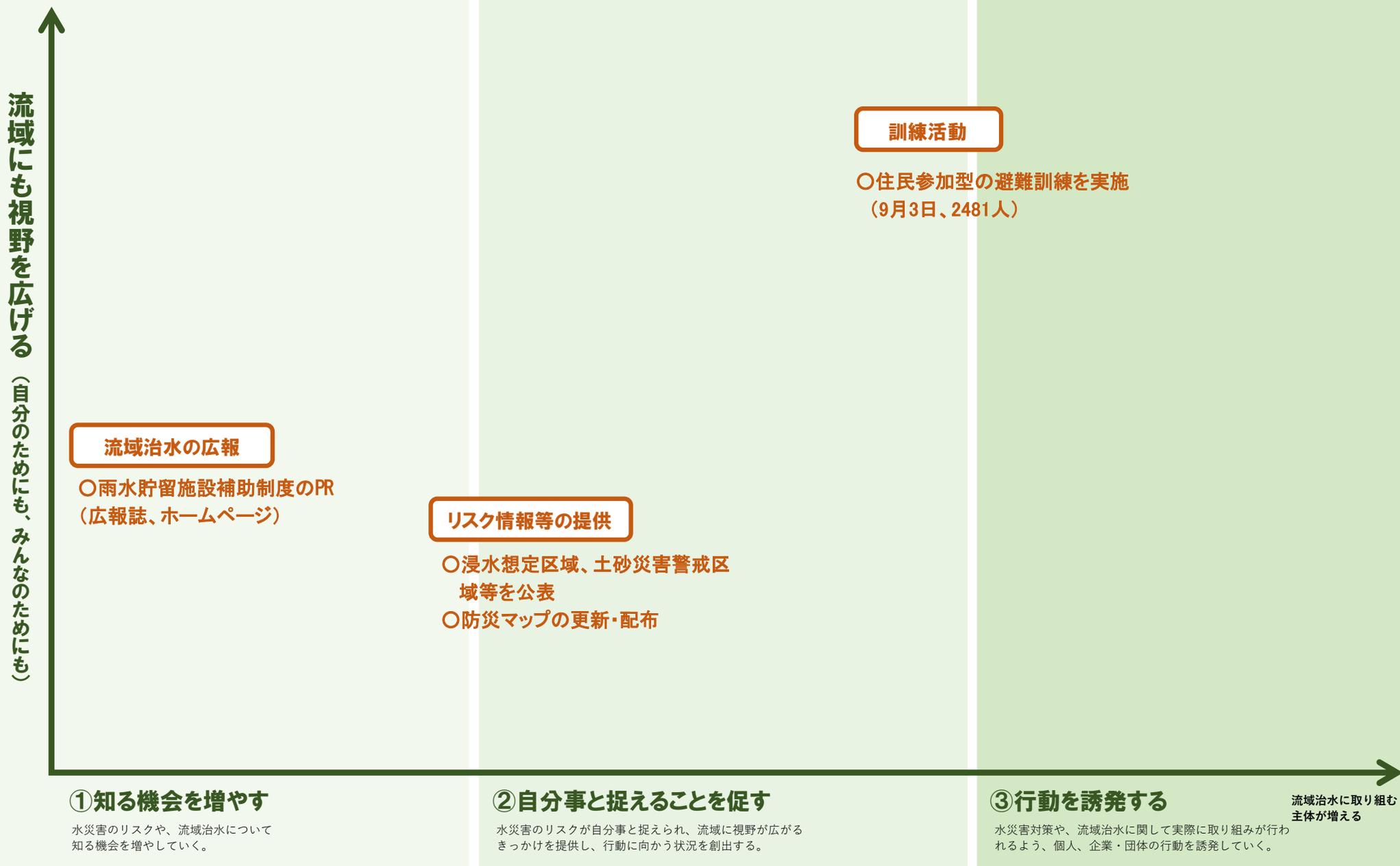
③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小布施町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(高山村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 分かりやすい教材等を用いた防災教育(1回、10人)
- 小中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座(1回、10人)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(高山村、1回、700人)

水防活動の支援

- 水防活動拠点整備

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(山ノ内町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

支流域の森林整備

○河畔林を整備(三沢川1,500㎡)



多様な主体による取組

○河川の美化活動「夜間瀬川をきれいにする会」を通したに河川の適切な管理に対する意識醸成(約100人参加)



訓練活動

○住民参加型の避難訓練を実施(山ノ内町、1回、197名)



リスク情報等の提供

○浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(夜間瀬川流域)
○避難場所や経路等に関する情報を周知

○危機管理型水位計・監視カメラを設置(夜間瀬川、1か所)

風水害に対応した避難基準の見直し

○自主防災組織による自発的な行動を促せるよう、避難基準を見直し。初期避難所グッズの配布

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

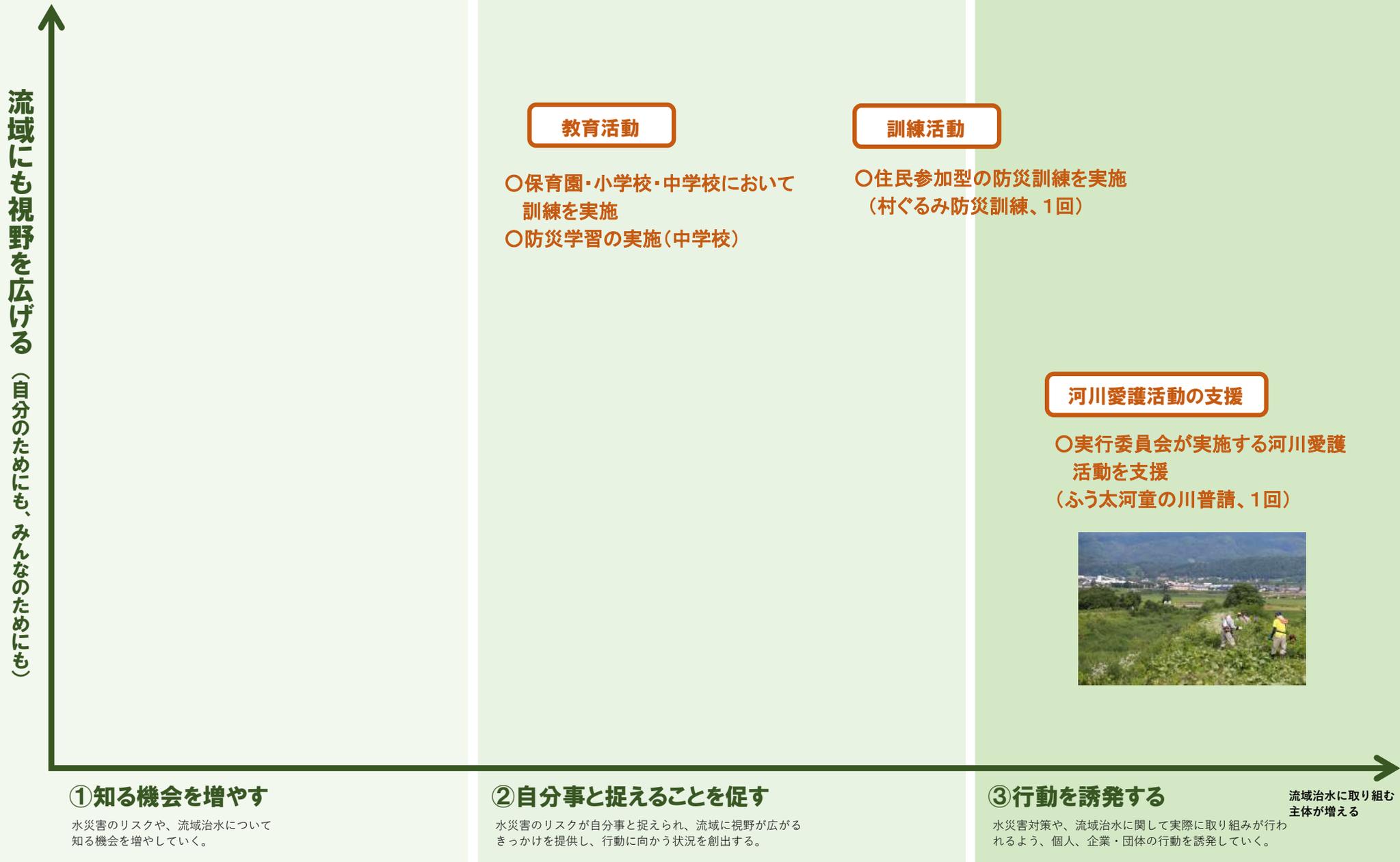
③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

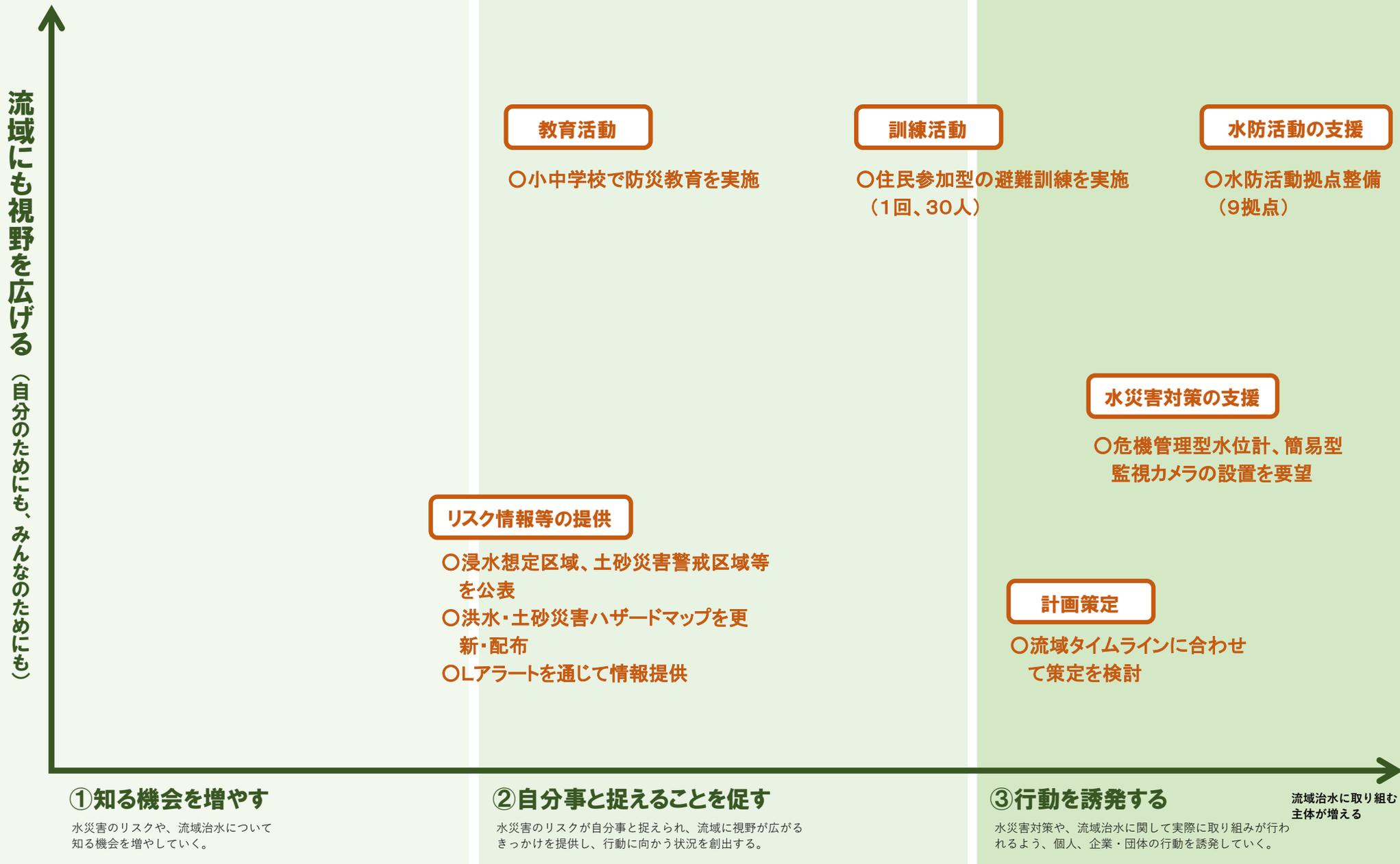
信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(木島平村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(野沢温泉村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(信濃町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 自主防災組織の推進
- Lアラートによる報道機関等への情報提供

教育活動

- 学校や社会福祉協議会、民生委員会等からの依頼による防災講話(3回50人)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(柏原地区、1回、50人)



水防活動の支援

- 災害時の応援協定と消防団の情報伝達訓練の実施
- 量水標設置の検討

水災害対策の支援

- 出穂期前に希望する市民への土のうの事前配布(5人)

リスク情報等の提供

- 防災マップの更新・配布(洪水・重点ため池・土砂災害・地震を掲載)
- 不動産業者等へのリスク情報の提供
- 危機管理型水位計・監視カメラの情報提供
- 緊急速報メールやLアラートを活用して市民へ情報提供
- メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(飯綱町)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(全町)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布(全町)
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置、増設(3河川、6ため池9箇所設置)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(全町、1回、3673人)

水防活動の支援

- 水防活動拠点整備(土のう備蓄)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

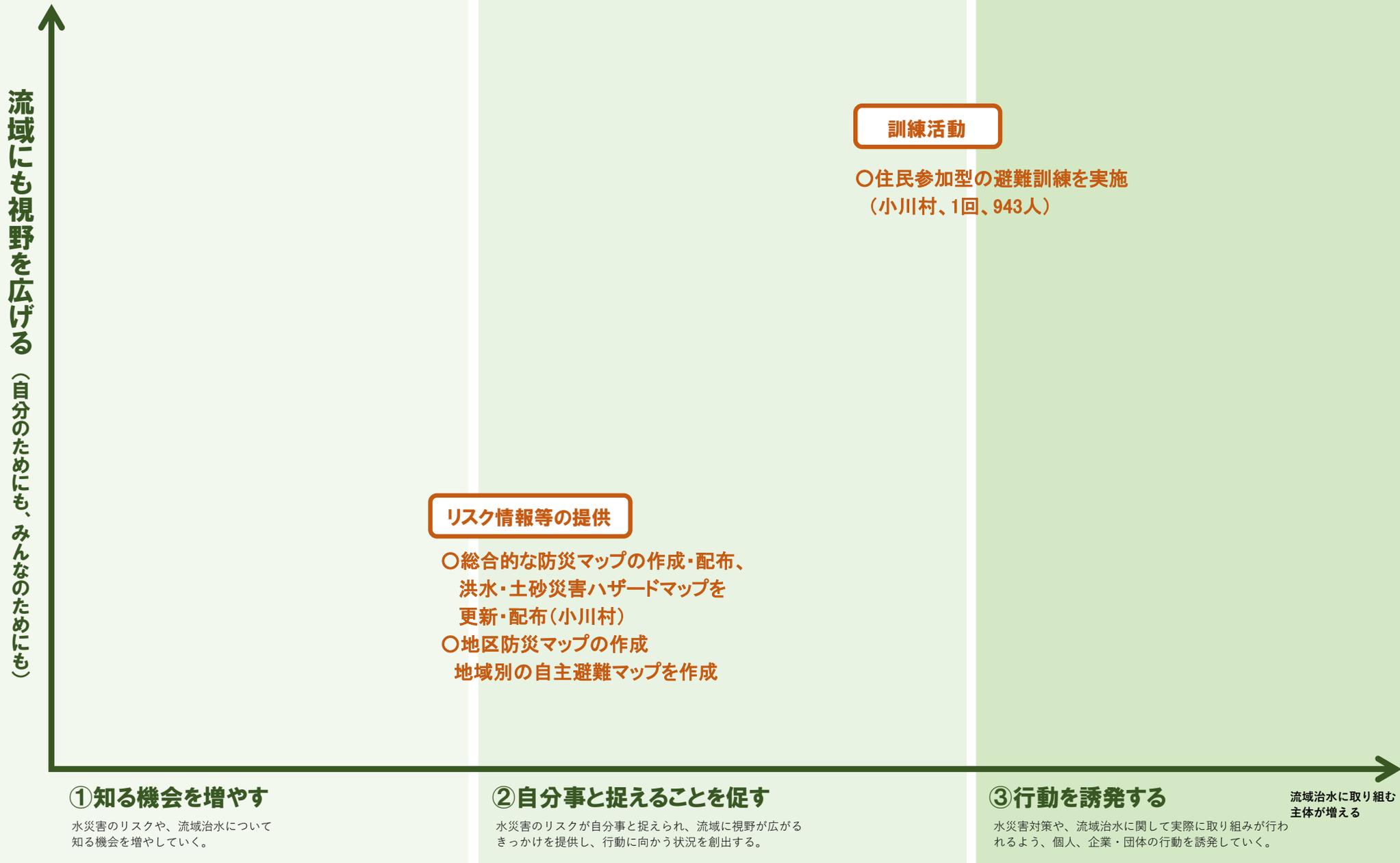
③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(小川村)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(栄村)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 河川工事を通じた流域治水への理解 (村広報誌に掲載)



教育活動

- 3月12日を栄村防災の日に制定
- 小中学校の防災教育

訓練活動

- 水害対策訓練、防災訓練の実施
- 防災訓練において避難誘導訓練の実施



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を公表(村HP)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布
- LINE等を用いた情報発信の多様化

計画策定

- 浸水想定区域内の要配慮者施設への避難確保計画の策定支援
- 要配慮者施設に対する勉強会

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会 (長野地方気象台)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 7/30「お天気教室2023」で気象防災について紹介
(協力:長野県 千曲川河川事務所 参加者114名)



教育活動

- ワークショップを開催
自治体向け(気象防災WS) 県内55市町村(R4~5年)
一般向け(気象庁WS) 長野県シニア大学(25人)
須高消防協会(20人)

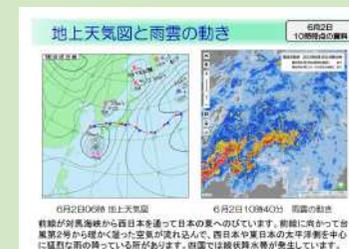


- 出前講座
気象台が発表する防災気象情報や気象情報の見方等について(5回)



リスク情報等の提供

- 自治体地域防災計画の修正協力(随時)
- 千曲川流域タイムラインへの参加(随時)



水災害対策の支援

- 水害に対する気象資料の提供(R5年度 2件)

計画策定

- 長野県・気象台共同で行う洪水予報の整備
千曲川上流—国予測情報(6時間先まで)導入
千曲川下流—洪水予報開始に向け手続中

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(湯沢砂防事務所)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

広報活動

○事務所HPでの情報発信



○X(旧Twitter)での情報発信



○コミュニティFMでの情報発信

FMながおか

○巡回パネル展示



湯沢カルチャーセンター



おらたる

○やまこし復興交流館
おらたるでの展示

連携活動

○NPO湯沢砂防の現場視察・講演会



○高棚川改良事業促進協議会の視察会・事業説明会



防災教育

○小中学校での防災教育(総合学習支援)



土石流ミニ模型で実験
(砂防堰堤の効果を学習)



質問する児童

○地域イベントや防災訓練での出前講座



パネルで土砂災害を学ぶ



3D土石流体験装置にて疑似体験



砂防堰堤の効果を学習



土砂災害ハザードマップの説明

関係機関との連携

○大規模土砂災害を想定した合同防災訓練



湯沢砂防事務所 災害対策室



十日町市役所 大会議室

令和6年5月 十日町市等との合同防災訓練

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松本砂防事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

○事務所HP、X(旧Twitter)での情報発信



○広報紙を通じた直轄砂防事業の紹介



○広報施設や地域の文化祭で、過去の土砂災害記録に関するパネル展示を実施



連携活動

ONPO梓川流域を守る会との現地視察、意見交換



関係機関との連携強化

○大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施



教育活動

○地域イベントや防災訓練で、土石流3Dシアターや降雨体験装置を用いた体験学習、模型やパネルによる防災教育を実施



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(大町ダム管理所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- ダムの役割、メカニズムが伝わるイベントを開催
- ・R5.7.29 高瀬渓谷フェスティバル 約200名参加
- ・R5.10.28 秋の3ダム巡り 約40名参加



流域治水に関する広報

- 大町ダム情報館にて、パネル等を用いて水害記録や大町ダムの役割を展示
- (R5年実績 9330名来館)



教育活動

- 社会科見学による小学生・中学生の受け入れをし、ダムの役割等の学習を実施
- (R5年度実績 小学生:90名、中学生:38名)



訓練活動

- ダム手計算における防災訓練



リスク情報等の提供

- 大町ダムの放流情報の内容や通知タイミングを関係機関へ周知
- (R5.5.30 大町ダム放流時の情報伝達に関する説明会 13機関参加)
- 放流警報による放流情報の周知

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(利根川水系砂防事務所)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

広報活動

○出張所広報紙、SNSによる情報発信



教育活動

○土石流模型実演装置や自然災害体験車を用いた防災教育(3回、173人)



土石流模型実演装置を用いた学習



自然災害体験車(3D映像)による学習

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(関東農政局)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

○田んぼダム拡大に向けて、県、市町村への説明会を実施(信濃川水系管内 2回)

水災害対策の支援

○ため池を活用した流域治水の取組を行う事業者への補助を実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(北信森林管理署・中信森林管理署・東信森林管理署)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 企業や団体によるボランティア活動を実施
- 関係団体と連携し植樹祭を実施
- 関係団体と高山植物等保護の普及啓発活動を実施



教育活動

- 自然への理解や関心を深めるため、地元中学生が取りの巣箱を設置



リスク情報等の提供

- 中部森林管理局HPで山地災害危険地区マップを掲載



流域治水の広報

- 広報誌により、各種取り組みやお知らせを掲載

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県農地整備課)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

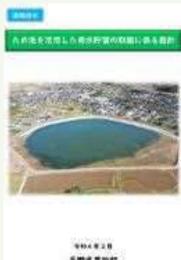
連携活動

○ため池サポートセンターと連携し、ため池の点検や雨水貯留の取組など説明会(毎年約160名)、現場パトロールを実施(年150箇所程度実施(R3~))



流域治水の広報

○「ため池を活用した雨水貯留の取組に係る指針」作成し、説明会等で活用



○信州社会科教育研究会監修のもと、副教本「排水機場と排水のしくみ」を作成し、千曲川周辺の小学校に配布・活用



教育活動

○排水機場の役割や仕組みについて、小学校の児童に出前授業(R5:2回、約98人)



リスク情報等の提供

○下流域への影響が大きいため池(防災重点農業用ため池)について、氾濫解析等を実施し、市町村が作成するため池ハザードマップ作成を支援(642箇所)



○長野県ため池監視システム(149箇所)を整備し、非常時の点検等の効率化やICT機器を活用した避難体制の構築及び雨水貯留状況の把握などに活用



避難体制構築への支援

○ため池ハザードマップとため池監視システムを活用した避難訓練等への支援



○排水機場の役割等地域住民の防災教育を深化させ、避難行動等への意識向上



継続した取組への支援

○営農に支障の無い取組の深化に向け、ため池の空き容量効果について、見える化を推進



○ため池の雨水貯留に必要な、かかり増し経費を助成する事業制度を創設(R5~:5市町村)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県砂防課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 砂防ボランティア協会や市町村と連携し土砂災害警戒区域パトロールを実施
- 砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わるツアーの開催を支援
- 地域住民や関係機関が参加した維持管理の実施



流域治水の広報

- 土砂災害防止月間におけるポスター、SNS等を活用した発信

大町建設X (旧Twitter)

長野県大町建設事務所 @NaganoOmachiKen 6月23日
 砂防備で土砂災害警戒区域等の巡回パトロールを行いました。権限を拡大して巡回エリアの範囲を拡大する予定です。ご迷惑がなければ幸いです。災害時は迅速な避難をお願いします。
 #大町市 #砂防課 #長野県砂防課 #防災意識



教育活動

- 小中学校への防災教育・出前講
- 赤牛先生(土砂災害専門家)による防災教育(51回、1,500人)



リスク情報等の提供

- 土砂災害警戒区域等の指定
- 土砂災害警戒情報の発表基準を変更
- 長野県河川砂防情報ステーションを活用した防災情報の共有
- 土砂災害リスク情報看板の設置



訓練活動

- 地区防災マップの作成及び住民参加型の避難訓練を支援



土砂災害対策の支援

- 避難時の声かけや避難誘導方法等の優良事例を紹介

計画策定

- 土砂災害警戒区域に立地している要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援(全県で858施設)

砂防課X (旧Twitter)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県生活排水課、都市・まちづくり課、建築住宅課)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

建築住宅課

不動産関係団体等への周知

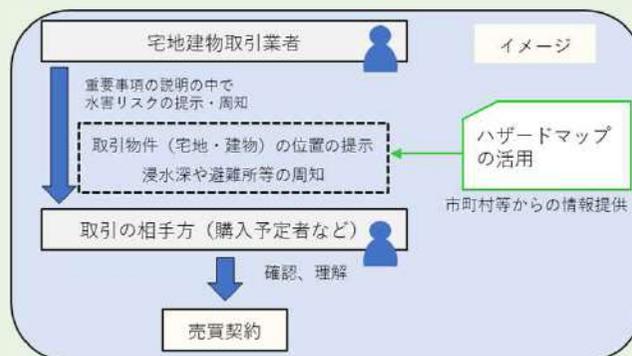
- 宅地建物取引業者が行う重要事項説明時に水害リスク情報の提供と周知を行うよう依頼
- 宅地建物取引士の法定講習会で説明

住宅購入予定者への周知

- 不動産購入時に水害発生リスク情報に接した上で、取得を最終判断

住宅購入予定者への周知

- 水害発生の危険が高まった場合に、自らの判断で適切に避難



リスク情報等の提供

生活排水課

- 内水浸水想定区域図、内水ハザードマップに関する国からの情報等を会議及び研修会で周知(2回、157人)

水災害対策の支援

生活排水課

- 下水道BCPIに関する国からの情報等を会議で周知(1回、132人)

計画策定

都市・まちづくり課

- 防災指針(立地適正化計画)の作成に向けた助言(R5現在 6市、1町作成)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(佐久建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 重要水防区域の合同点検 (佐久市、5月、1回)
- 洪水情報伝達訓練 (5月、1回)

教育活動

- ダム見学会の実施 (1回、120人)



流域治水の広報

- 災害伝承カードの配布
- イベント時にパネル展等で防災教育、過去の災害の周知



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域を公表 (69河川中68河川実施)
- SNSを活用したリアルタイムの情報提供
- 市町村へのメールの配信
- ホットラインの更新(6月)
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置(34河川、86箇所設置)
- イベント時に河川砂防ステーションの説明とチラシの配布



水防活動の支援

- 水位計・カメラによる水防活動の支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(上田建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 河川管理者や河川沿川地区等と共同で点検を実施(県、2市)
- 自主防災組織の立ち上げ・活動支援研修等開催による人材育成(2市村)

教育活動

- 地区防災マップ、マイ・タイムラインの検討・作成支援(建設事務所、3市町村)
- ダム見学会や出前講座等による防災教育の実施(建設事務所・3市町村)
- 多様な生物の生息環境へ配慮した河川環境整備や水生生物調査の実施(建設事務所、1市)
- 小学生を対象とした防災教育の実施

訓練活動

- 学校や地域住民参加型の避難訓練を実施(3市町)

水防活動の支援

- 水防訓練や水防技術講習会の開催
- 水位計・カメラによる水防活動の支援(建設事務所)
- 備蓄資材の情報共有

水災害対策の支援

- 関係者が一体となったタイムラインの作成・検討・見直しの実施(建設事務所、2市)

流域治水の広報

- パネル展、防災教育、HP等での周知(建設事務所、3市町)
- 災害伝承カードの配布(建設事務所)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域等の公表(建設事務所)
- 水位計・カメラによる河川情報の提供(建設事務所)
- ハザードマップの作成・配布(3市町)

- まるごとまちごとハザードマップの検討・整備の実施(2市)
- 独自防災ポータルサイトの運用(1市)

計画策定

- 都市計画区域マスタープラン変更検討
- 浸水想定区域等を基に土地利用に係る計画の見直し検討(3市町)
- 立地適正化計画(防災指針)の見直し検討(2市)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(松本建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○ダム役割、メカニズムが伝わる見学会
(奈良井ダム、小仁熊ダム、北山ダム)

奈良井ダム ビデオ上映

小仁熊ダム 施設説明

北山ダム 監査廊見学



教育活動

○松本県ヶ丘高校探究科に松本地域における「歴史砂防施設」「流域治水」について出前講座を実施 (R5.10実施 生徒7名ほか)



訓練活動

○住民参加型の避難訓練に参加、講習会を実施 (朝日村、1回、参加人数67人)



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域を公表
筑北村 小仁熊地区
- 土砂災害における警戒避難体制を強化し、住民の避難に資するため、土砂災害に関する行動計画作成の取り組みを支援
- 地区防災マップ作成支援
(2市、1村の4地区で実施)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(安曇野建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

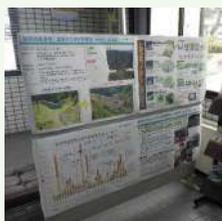
連携活動

○ダム、砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わるツアーの開催(1回約20人)



流域治水の広報

○パネル展、土砂災害模型による防災教育(3回)



教育活動

○中学校への防災教育(1回、約40人)



訓練活動

○自主防災避難訓練を実施(安曇野市、1回、約30人)



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域(14河川)
- 総合的な防災マップの配布(安曇野市)
- 危機管理型水位計(8河川11箇所)
簡易型監視カメラ(10河川13箇所)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(大町建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 土砂災害警戒区域の合同パトロールの実施(11人)
- 関係者による重要水防区域の合同点検実施(7人)



教育活動

- 出前講座による防災教育の実施(松川村川西地区、20人)
- 砂防の役割、土砂災害のメカニズムを伝える研修の開催(1回、18人)



訓練活動

- 地域住民参加型の避難訓練に参加



水防活動の支援

- 水防訓練や水防技術講習会の開催(大町市)
- 水位計・カメラによる水防活動の支援



流域治水の広報

- 新聞を活用した防災情報の周知
- パネル展や防災教育での水害リスク情報等の周知
- 災害伝承カードの配布



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域の情報を市町村へ提供
- 水位計・カメラによる河川情報の提供

水災害対策の支援

- 関係者が一体となり洪水氾濫による被害を軽減するための協議会を開催
- 土砂災害の防止・軽減を図ることを目的とした連絡会を開催



計画策定

- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援(49施設)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(千曲建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○地区防災マップ作成支援(坂城町坂端地区)



教育活動

○小学校への防災教育出前講座・砂防施設現地見学会(千曲市治田小 1回、51人)



訓練活動

○長野圏域大規模氾濫減災協議会実施(1回)
○長野・須高・更埴地域 総合土砂災害対策推進連絡会・幹事会実施(1回)
○土砂災害警戒区域パトロールを実施(千曲市、坂城町 1回、14人)



水防活動の支援

○要配慮者避難計画の作成支援(坂城町16施設)
○実践的な情報伝達訓練の実施(1回)

流域治水の広報

○災害伝承カードの配布(約135人)



リスク情報等の提供

○地区防災マップ作成・配布(坂城町坂端地区)



水災害対策の支援

○千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインでの連携・協力



計画策定

○都市計画基礎調査(坂城町)
○防災計画修正参画(千曲市)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(須坂建設事務所)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 土砂災害警戒区域パトロールの実施 (3市町村 18人)
- 水防活動に関わる関係者と合同で重要水防箇所を現地調査(5団体 13地区)

[土砂災害警戒区域パトロール]



教育活動

- ダム祭り(豊丘ダム)のダム見学(1回138名)
- 赤牛先生(土砂災害専門家)による防災教育(須坂市区長会防災講座 1回) (地区防災マップ作成支援 2回)

[ダム祭り]



[赤牛先生]



水防活動の支援

- 水防工法訓練の開催(須高消防協会 約160名)



流域治水の広報

- 災害伝承カードの紹介、配布(405枚)
- [令和5年度追加 大夫千両堤]



リスク情報等の提供

- 地区防災マップの作成支援(高山村 2地区)



計画策定

- 地区タイムラインの作成に参加(須坂市北相之島地区 3回)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 河川・砂防インフラの役割、メカニズムが伝わる見学会の開催(1回、39人)



教育活動

- ダム(3ダム)まつりを通じた水防災意識の普及(1回、384人)
- 小中学校等のダム・排水機場見学における水防災教育(19回、618人)
- 地域住民への出前講座による水防教育(1回、20人)



訓練活動

- 自治体と連携した水防訓練を実施(長野市、1回)



流域治水の広報

- マイ・タイムライン広報動画の作成・公開



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域を公表(38河川)
- ダム諸量をインターネットへ掲載(3ダム)
- 危機管理型水位計設置(19河川、29箇所設置)・監視カメラを設置(21河川、45箇所設置)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(北信建設事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 千曲川水環境保全協議会による小学生のサケ稚魚放流学習体験会の実施(1回、75人)



教育活動

- 中学校への土石流模型等を用いた防災教育(3回、180人)



- 現場見学会の実施(飯山市、栄村)
- 防災講習会の実施(飯山市)

訓練活動

- 自治体と連携した排水ポンプ車稼働訓練を実施(国交省、飯山市、消防団)



- 水防訓練の実施(飯山市、木島平村)

流域治水の広報

- 災害伝承カードの配布(700枚)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域を公表(43河川)
- 危機管理型水位計・監視カメラを設置(16河川、21箇所設置)
- 土砂災害警戒区域等の追加指定(11箇所)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(千曲川河川事務所)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係機関や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施(411人)
- 報道機関等への情報提供及び連携強化(テレビ放送3回)



流域治水の広報

- パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信
- 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布



教育活動

- マイ・タイムラインづくりの支援(3回)
- 出前講座による防災教育の実施(3回)



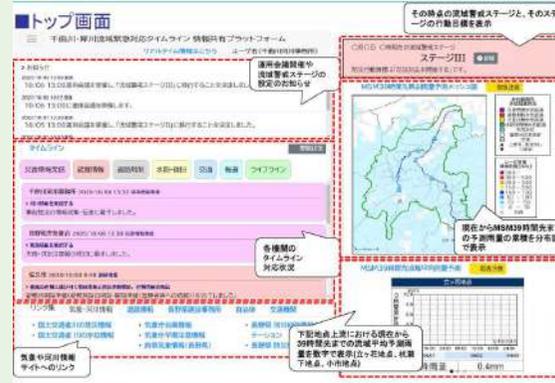
訓練活動

- 避難訓練の実施支援
- 避難訓練への地域住民の参加促進



リスク情報等の提供

- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
- 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動



水防活動の支援

- CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置
- 水防団等への連絡体制の確認・実践的な情報伝達訓練の実施
- 新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
- 水防技術講習会を実施

水災害対策の支援

- 避難時の声かけや避難誘導方法等についての充実
- 要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援
- 関係者が一体となったタイムラインの作成・検討・見直しの実施

項目	内容	実施状況	備考
避難経路の確保	避難経路の確保	完了	
避難場所の確保	避難場所の確保	完了	
避難物資の確保	避難物資の確保	完了	
避難訓練の実施	避難訓練の実施	完了	
避難経路の確保	避難経路の確保	完了	
避難場所の確保	避難場所の確保	完了	
避難物資の確保	避難物資の確保	完了	
避難訓練の実施	避難訓練の実施	完了	
避難経路の確保	避難経路の確保	完了	
避難場所の確保	避難場所の確保	完了	
避難物資の確保	避難物資の確保	完了	
避難訓練の実施	避難訓練の実施	完了	



計画策定

- 地区防災計画の作成支援
- 避難確保計画の作成
- 大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画の検討を実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(長野県河川課)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 流域治水に関するCM、ミニ番組の放送



- 流域治水に関するノベルティグッズ作成、展開



- パネル展の実施
- 県有施設へ雨水貯留タンク設置(意識醸成)



教育活動

- 模型や学習用動画を活用した防災教育活動や出前講座の実施

訓練活動

- 情報伝達訓練の実施
- 市町村と連携したダム管理演習の実施

リスク情報等の提供

- 信州防災アプリの普及啓発(避難場所や経路等に関する情報の周知)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える